

九州の特徴と将来像

九州地方の現状

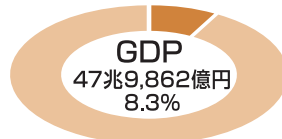
全国に占める、九州地方の人口、面積、域内総生産(名目GDP)、製造品出荷額は、1割程度です。
九州の恵まれた地理的環境を活かし、成長が期待される産業を今後発展させるためにも、人流・物流のネットワーク整備、すなわち社会資本整備が必要不可欠となっています。



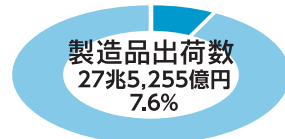
出典:令和6年1月 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(総務省)



出典:令和6年 全国都道府県市区町村別面積調(国土地理院)
※都県にまたがる境界未定地域は含まない



出典:令和3年度 県民経済計算(内閣府)

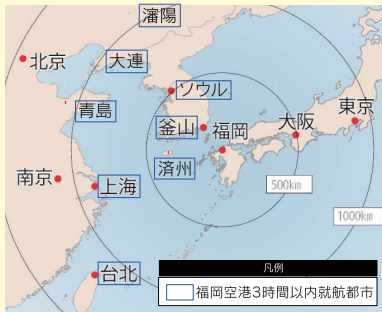


出典:2023年経済構造実態調査 製造業事業所調査(経済産業省)

九州の主な特徴

アジアの玄関口

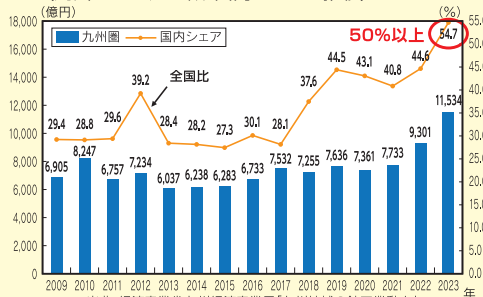
◆東アジアの概ね中心に位置している九州は古来より、アジア等の海外から人・物・情報を取り入れ、全国に伝えていくゲートウェイの役割を担ってきました。



成長期待産業が集積

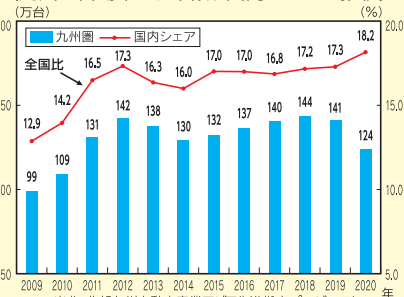
◆九州のIC(集積回路)生産金額は、国内シェア50%以上(2023年)と高く設備投資も活発化しています。

〈九州のIC生産金額・国内シェアの推移〉



◆九州の自動車産業は完成工場の立地に伴い、部品の製造・加工等を担う自動車関連企業の集積が北部九州を中心に進んでいます。

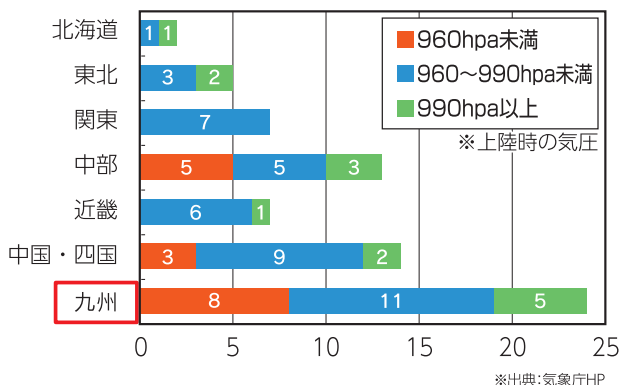
〈九州の自動車生産台数・国内シェアの推移〉



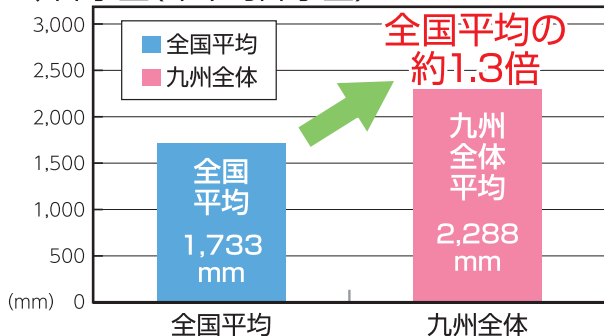
九州の多様な災害リスク 〈台風・豪雨・火山噴火・地震〉

九州地方は、国内の他地域と比較して、台風の上陸回数が多く、火山活動が活発であるなど災害リスクが高くなっています。

◇地域別台風上陸回数(2001.1~2024.12)



◇降水量(年平均降水量)



◇活発な活動が続く活火山

九州地方は、全国で11ある活火山のうち、17の活火山を有しています。
また、気象庁が発表している噴火警戒レベルが2以上の活火山を複数有しています。

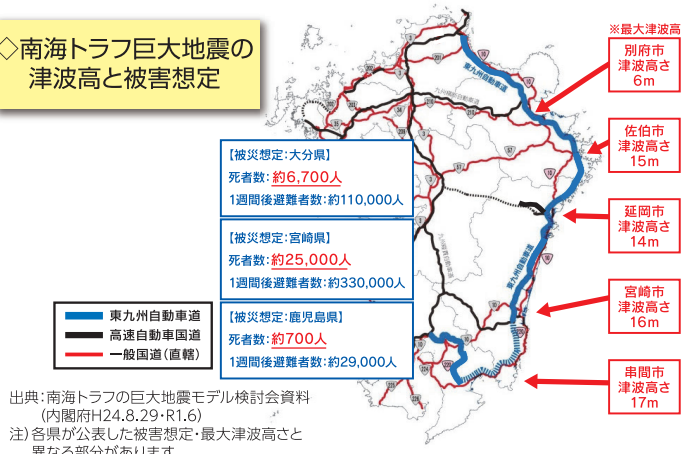
■活発な火山活動(令和7年1月17日現在)

桜島	レベル3
霧島山(新燃岳)	レベル2
口永良部島	レベル2
諏訪之瀬島	レベル2
薩摩硫黄島	レベル2
浅間山	レベル2
岩手山	レベル2
御嶽山	レベル2

噴火警戒レベル2以上の全国8火山のうち九州に5火山

※参考 レベル5(避難)
レベル4(避難準備)
レベル3(入山規制)
レベル2(火口周辺規制)
出典:気象庁HP

◇南海トラフ巨大地震の津波高と被害想定



九州の将来像

九州圏広域地方計画（第二次）

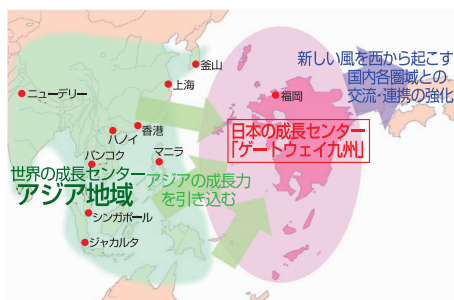
日本の成長センター「ゲートウェイ九州」～新しい風を西から～

・第二次九州圏広域地方計画は、国土形成計画法に基づき平成 27 年 8 月 14 日に閣議決定された「第二次国土形成計画（全国計画）」を受けて、九州ブロックの自立的発展に向けた今後概ね 10 年間のブランドデザインをとりまとめたもの。

九州圏の3つの将来像

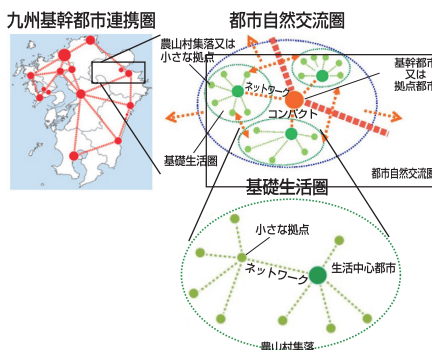
1. 日本の成長センター 「ゲートウェイ九州」

- ・世界の成長センターであるアジア地域の成長力を引き込む日本の成長センター「ゲートウェイ九州」となって、日本の経済成長に貢献することを目指す。



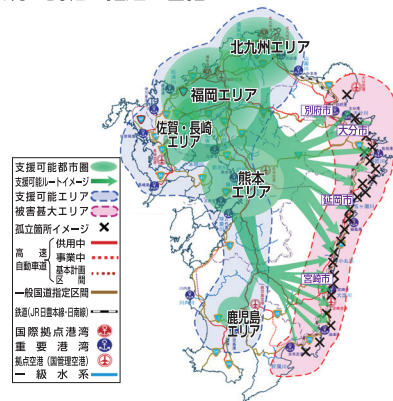
2. 三層の重層的な圏域構造からなる「元氣な九州圏」

- ・新技術等による戦略的な産業基盤強化、オール九州農林水産物の輸出拡大を目指す。



3. 巨大災害対策や環境調和を発展の原動力とする「美しく強い九州」

- ・地域の発展基盤として、巨大災害対策や環境の調和の推進を目指す。



将来像の実現に向けた戦略(プロジェクト)

- ・将来像の実現に向けて、重点的に取り組む5つの戦略とそれを支える12のプロジェクトを設定しています。

新たな九州圏広域地方計画を策定中

アジアの成長センター「アイランド九州」

国土形成計画(全国計画)

- ・令和5年7月28日に第三次となる国土形成計画（全国計画）が閣議決定されました。

新たな国土の将来ビジョン

時代の重大な岐路に立つ国土

- ・地域の持続性、安全・安心を脅かすリスクの高まり
- ・コロナ禍を経た暮らし方・働き方の変化
- ・激動する世界の中での日本の立ち位置の変化

目指す国土の姿 「新時代に地域力をつなぐ国土」

- ・デジタルとリアル融合による活力ある国土づくり
- ・巨大災害、気候危機、緊迫化する国際情勢に対応する安全・安心な国土づくり
- ・世界に誇る美しい自然と多彩な文化を育む個性豊かな国土づくり

国土構造の基本構想「シームレスな拠点連結型国土」

《広域的な機能の分散と連結強化》

《持続可能な生活圏の再構築》

《国土の刷新に向けた重点テーマ》

- デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成
- 持続可能な産業への構造転換
- グリーン国土の創造
- 人口減少下の国土利用・管理

《横断的な重点テーマ》

- 国土基盤の高質化
- 地域を支える人材の確保・育成

分野別施策の基本的方向

- 地域の整備○産業○防災・減災、国土強靱化
- 国土資源及び海域の利用と保全
- 環境保全及び景観形成
- 文化・スポーツ及び観光
- 交通体系、情報通信体系及びエネルギーインフラ

計画の効果的推進 広域地方計画の策定・推進

- 地理的空間情報等を活用したマネジメントサイクルと評価の実施
- 広域地方計画協議会を通じた広域地方計画の策定・推進

新たな九州圏広域地方計画

- ・第三次国土形成計画（全国計画）の議論を踏まえ、新たな九州圏広域地方計画の検討を令和4年度に着手し「将来像」と3つの「目標」を設定
- ・令和6年12月23日には、令和6年12月時点の検討状況を整理した「九州圏広域地方計画・中間とりまとめ（素案）」を公表
- ・現在は、新たな九州圏広域地方計画の策定に向けて7つの「広域連携プロジェクト」を検討実施中
- ・今後も引き続き、新たな九州圏広域地方計画策定に向けた議論を進める

【将来像】アジアの成長センター「アイランド九州」～個性・魅力を発揮しながら、ひとつにまとまり発展し、誇れる九州～

目標1. 成長エンジン「アイランド九州」～交流と変化を競争力へ～

ゲートウェイ機能を強化し、多様な人々が集い賑わう国際交流拠点を形成することで、国際競争力の向上とイノベーションによる新たな産業の創出を促し、圏域内の経済や暮らしを成長させるとともに、その効果を国内他圏域へ拡大する重要な役割を果たす。

目標2. 自立型広域連携「アイランド九州」～快適で幸福な暮らしへ～

成長が離島・半島・中山間地域まで行き渡り、幸福度の高い魅力的な生活環境を構築するため、デジタルとリアルが融合し都市の利便性と地方の快適性が共生した地域生活圏の形成を目指す。

目標3. 強く美しい「アイランド九州」～持続可能でしなやかな社会へ～

地震や豪雨、火山等による大規模自然災害等に対し、強靱な九州圏を構築するとともに、美しい自然を保全し、環境負荷の少ないカーボンニュートラルの実現をリードする、強く美しい圏域を目指す。

九州圏広域地方計画ホームページ
<http://www.qsr.mlit.go.jp/suishin/>
九州圏広域地方計画 検索

